

■平成 30 年 6 月 25 日号 (第 1599 号)

- ・ 民有護岸 耐震改良のガイドライン策定＝港湾局、調査・工法の費用軽減へ
- ・ 中間まとめ 津波防災地域づくりへ提言＝海岸堤防整備の財政支援等
- ・ 作業船協会 第 70 回定時総会開催＝イノベーション取組みを
- ・ CDM研究会 第 41 回通常総会開催＝国内外で普及拡大を
- ・ 港湾 9 団体 JICA 研修セミナー＝開発・計画、13 カ国 14 名参加
- ・ 東京湾海の再生賞＝みなと総研、募集開始
- ・ 航空局 10 月に空港技術報告会＝新技術など発表議題募集
- ・ 東京港 東側及び南側護岸工事等＝新海面、Dブロック整備促進
- ・ 秋田県 防波堤や風力拠点等＝31 年度予算への要望
- ・ 川崎港 海上地盤改良に着工＝東扇島堀込土地造成
- ・ 新潟港 万代島の賑わい創出＝浮棧橋でアクセス向上
- ・ 水島港 32 年春頃の供用目指す＝国際バルク戦略港湾、岸壁、荷役機械整備進む
- ・ 舞鶴港 第 2 ふ頭の改良整備促進＝鋼管杭式に転換して強化
- ・ 油津港 10 号岸壁の耐震改良＝アンカー工法で促進中
- ・ 航空局 海外空港案件獲得へ連携＝協議会開催、空港会社の本格的参画
- ・ 航空局 新技術の現場試行へ＝MMS、空港舗装計測
- ・ 全建賞 港湾部門で 9 事業受賞＝建設技術の創意工夫等
- ・ 港空技術振興会 30 年度定時総会開催＝官民技術交流会が好評
- ・ 港湾局 みなとオアシス清水＝全国 111 箇所目登録
- ・ みなと総研 未来のみなとづくり助成＝29 年度成果報告会開催
- ・ 東洋建設 本部安全衛生推進大会＝コミュニケーション強化
- ・ 東洋建設 土木施工技術発表会＝品質向上策など
- ・ 東洋建設 建築技術研究発表会＝施工工夫、工期短縮

■平成 30 年 6 月 18 日号 (第 1598 号)

- ・ 港湾局 浚渫土埋立利用ガイドライン＝年度内とりまとめ、改正土対法に対応
- ・ 土木学会 国難的災害の被害推計公表＝大阪湾高潮 65 兆円、対策で 50%以上減災も
- ・ 土木学会 第 104 回定時総会開催＝新会長に小林潔氏
- ・ 港湾談話室 受章者を招き祝福＝褒章・叙勲お祝いの会開く
- ・ JOPCA 第 26 回通常総会開催＝国際交流、人材育成を
- ・ 港荷協 金澤氏が新会長に就任＝第 63 回総会開催、先端荷役研究所設置
- ・ 新千歳空港 誘導路新設やエプロン拡張＝札幌開建、外国人受入機能強化
- ・ 久慈港 築造工事や本体製作＝湾口地区防波堤整備
- ・ 仙台塩釜港 ふ頭再編改良の着工式＝14m岸壁工事が本格化
- ・ 大阪港 北港南地区航路附帯施設＝護岸築造等工事順次進む

- ・高知港海岸 長浜地区で水門予備設計＝海底設置型フラップゲートも検討へ
- ・大分港海岸 地盤改良工事を追加＝津留地区海岸護岸改良
- ・NEDO・日立造船 洋上風力の付帯構造物開発＝北九州港沖で実証、浅海域で設置可能
- ・底浄協 30年度定時総会を開催＝環境改善、浚渫土有効活用等へ
- ・海洋調査協会 30年度定時総会開催＝関係業務の役割高まる
- ・WF協会 第28回定時総会開催＝みなとまちづくり研究会、成果報告会
- ・関東地整 海洋港湾技術報告会＝京浜港ドック等活用
- ・港湾PC構造物研究会 第30回定時総会開催＝PC技術の更なる研鑽へ
- ・海産研 30年度定時総会開催＝分野横断的な連携強化
- ・日本港湾協会 「港湾の施設の技術上の基準・同解説」＝購入受付開始

■平成30年6月11日号（第1597号）

- ・国際クルーズ 拠点形成港湾追加指定へ＝第3次募集、那覇港等が応募検討
- ・PIANC パナマで年次総会開催＝来年は6月に神戸大会
- ・WAVE・SCOPE ブルーカーボン公園会＝吸収量試算、社会実装の課題など
- ・若築建設 名誉総裁賞を受賞＝日本水難救済会、青い羽根募金多額寄付
- ・リサイクルポート推進協 30年度総会を開催＝専門部会の再編強化
- ・政府 交通政策白書を作成＝閣議決定、港湾施設等
- ・東亜建設 部署新設＝i-Con推進部
- ・鹿島港 南防波堤築造と本体製作＝静穏度対策、国際物流ターミナル整備事業
- ・横須賀港 基礎調査業務を委託＝33年度末次期改訂へ
- ・室蘭市 祝津絵鞆岸壁改良等＝31年度重点要望事項
- ・名古屋港 金城ふ頭南岸壁の新設＝地盤改良工手続き開始
- ・八幡浜港 フェリーふ頭を再編中＝栈橋工やターミナルビル
- ・海ネット 総会、首長サミット開催＝瀬戸内海の魅力発信等
- ・洋上風力 一般海域導入等へ提言＝JWPA、拠点港整備一体化で推進
- ・土木学会 港湾の健康診断書公表＝早期補修を、係留施設C評価
- ・海上GPS機構 第13回通常総会開催＝藤田氏を新会長に選任
- ・消波根固協 第52回通常総会開催＝世界に誇れる工法
- ・CNAC 30年度総会を開催＝ネットワーク強化等
- ・NEDO 港湾の洋上風力支援＝一般海域の基礎調査も
- ・東洋建設 関東・関東建築安全衛生推進大会＝危険予知、ゼロ災達成を
- ・国交省 推奨技術等9件選定＝新技術活用システム
- ・森長組 コンクリプラント船＝「第三十六豊号」新造
- ・国交省 新技術開発2件決定＝内航船AIシステム等

■平成 30 年 6 月 4 日号 (第 1596 号)

- ・港湾局等 水門・陸閘等の維持管理＝海岸保全施設、マニュアルを改訂
- ・港湾局 クルーズ整備 20 港選定＝受入機能高度化事業
- ・国交省 生産性革命プロジェクトを追加決定＝港湾の国際競争力強化等
- ・国総研 維持管理費計算ツール＝海岸保全施設、簡易に推計可能へ
- ・港湾協会 港湾政策研究所講演会＝函館、港が拓く地域の未来
- ・港湾局 みなとオアシス伏木＝全国 110 か所目登録
- ・国交省 中小企業の海外進出へ＝全国でセミナー開催
- ・八戸港 航路泊地付帯施設本土工＝30 年度事業、W T O の浚渫工事も
- ・苫小牧港 屋根付岸壁が完成へ＝供用式典、農水産の輸出支援
- ・茨城港 防波堤と側面護岸等＝常陸那珂港区主要事業
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場 2 期＝グラブ床掘工を手続き中
- ・津松阪港海岸 「栗真町屋」地区を延長＝新規事業区間を追加予定
- ・本部港クルーズ ジャケット岸壁の整備＝J F E エンジが落札に
- ・沿岸センター 29 年度下期技術評価証＝新規 2 件、更新 4 件交付
- ・マリーナ・ビーチ協 第 46 回通常総会開催＝安心、安全の取組み等
- ・埋浚関東ら 港湾工事安全研修会開催＝30 年度第 1 回、3 テーマで講義
- ・R S O 第 19 回通常総会開催＝浅輪技術参事官が講演
- ・海事局 海洋開発専門教材作成＝H P 公開、産業・工学・ビジネス
- ・J W P A 総会、成果発表会開催＝加藤新代表理事、洋上風力導入へ提言
- ・潜水協会 第 46 回定時総会開催＝後継者育成、安全確保
- ・海技協 環境保全対策マニュアル＝作業船運航、改訂版を発行・販売
- ・インフラデータチャレンジ＝土木学会、7 月参加登録

■平成 30 年 5 月 28 日号 (第 1595 号)

- ・港湾協会 函館市で 30 年度定時総会＝港湾の整備振興を促進
- ・埋浚協会 平成 30 年度定時総会開催＝港湾工事、働き方改革・生産性向上
- ・埋浚協会 清水会長等が記者会見＝週休 2 日へ、関係団体と意見交換を
- ・秋元副大臣 ラックフェン港セレモニー＝ベトナム円借款、C T の整備、運営事業
- ・港湾局 R T G のモデル運用規定＝安全確保のあり方等
- ・羽田空港 W T O 案件など 5 件発注＝今年度事業、地盤改良や駐機場造成
- ・成田空港 準備書の縦覧が終了＝更なる機能強化アセス
- ・茨城港 ケーソン製作と据付＝日立港区の沖防波堤
- ・名古屋港 飛島ふ頭東岸壁再編＝水深 15m 耐震改良、来年度は岸壁本体も
- ・関門航路事務所 航路増深事業を推進＝安全・安心への取組み

- ・高知港海岸 湾口部の津波防波堤＝断面構造の検討開始
- ・高知港海岸 堤防改良2件を手続き中＝鋼管杭による本体工等
- ・和歌山下津港 本港地区の泊地拡幅＝防波堤（外）の築造等
- ・北九州港 洋上風力発電の基地機能＝将来は国際的母港化検討
- ・経産省 エネ基本計画案を公表＝意見募集、洋上風力、水素社会等
- ・国交省 i-C o n技術11件試行＝シーズ・ニーズ、港湾技術等マッチング
- ・国総研 I C T浚渫工の効果算定＝重点研究、高潮、空港維持管理等も
- ・関東地整 羽田の修補検討委開催＝浸透固化、高圧噴射工法
- ・福岡空港 優先交渉権者を選定＝民営化、福岡エアポートHD
- ・国交省 先導的官民事業を補助＝2次募集も、港湾P F I導入など
- ・海事局 革新的造船技術研究＝15件に補助金交付
- ・三井E & S ナカラ港向け荷役機械＝クレーン8基を受注

■平成30年5月21日号（第1594号）

- ・埋浚協 中期活動計画を策定・公表＝方針・展開施策、働き方改革、新技術挑戦など
- ・土木学会 功績賞に江頭氏、清宮氏＝田中賞、小名浜マリブリッジ等
- ・石井大臣、徳島小松島港視察＝フラップゲートも確認
- ・閣議決定 第3期海洋基本計画策定＝港湾、海洋資源施策など
- ・港湾局 みなとオアシス油津＝全国109箇所目登録
- ・国交省等 インフラメンテ大賞＝港湾・海岸分野4件受賞
- ・東京港 13号地新客船ふ頭の整備＝オリパラに向けて残りの工事の大半を受注
- ・川崎港 井筒式護岸築造の手続き＝東扇島掘込部の埋立
- ・金沢港 機械攪拌の地盤改良＝南地区岸壁築造その1
- ・徳山下松港 渡橋部の細部設計手続き＝バルク戦略港湾準備進む
- ・北九州港 新門司沖処分場2期促進＝東アとの近接性を活かす
- ・舞鶴港 第2ふ頭附帯施設整備＝クルーズ船受入に対応、設計や係船杭工事
- ・松山港 取付護岸部を改良設計＝水深13m岸壁化に対応
- ・戸田建設ら 半潜水型スパッド台船完成＝合同会社、浮体式風力施工の効率化へ
- ・I H I 海流エネ長期実証試験へ＝水中浮遊式、N E D Oが助成事業選定
- ・三河港 神野地区ふ頭再編事業＝整備完了し、6月供用へ
- ・環境省 洋上風力版マップ作成へ＝検討会、海鳥の影響区域など
- ・海技協 第32回通常総会開催＝技術伝承、人材確保へ
- ・中部空港 増収増益、過去最高＝売上・最終利益、18年3月期決算
- ・日立製作所 台湾で洋上風力事業＝J D N社、21基受注
- ・三井海洋開発等 ブラジルF P S O事業＝5社共同、メロ鉱区開発へ
- ・国環研 ヒアリ検出キット作成＝プロトタイプ、数時間で確認可能

- ・九州工業大・東大 自立型海中ロボを開発＝生物サンプリング成功
- ・中部地整 4月のクルーズ速報＝清水港に10回入港
- ・海洋政策研古川部長＝「海の色」で小論

■平成30年5月14日号（第1593号）

- ・港湾局 ICT活用工事の発注拡大＝CIM業務6件、基礎工10件モデル工事等
- ・港湾局 プレジャーボート中古船有効活用＝放置艇対策の検討推進
- ・日港連 第35回通常総会開催＝新会長に林田氏就任
- ・林田日港連新会長が会見＝就任の抱負等を語る
- ・港湾局 濱口梧陵国際賞募集＝津波・高潮、7月に受賞者決定
- ・関東地整 実証試験報告会＝6/8、京浜港ドック
- ・横浜港 新港ふ頭9号岸壁の改良＝クルーズ、来春完成へ工事が終盤
- ・新潟港海岸 既設離岸堤の撤去工＝第6区画護岸整備へ
- ・伏富港 上部工等の築造工事＝新湊地区12m北岸壁
- ・博多港 水深15m岸壁を延伸へ＝海上コンテナ増加に対応
- ・戸谷・下関港湾所長 港湾局初の女性所長＝働きやすい職場づくり
- ・和歌山下津海岸 日方、築地護岸に着工＝湾奥部の防護ライン整備
- ・秋元副大臣 ティラワ港新規プロジェクト実現へ＝ミャンマー訪問、港湾EDI完成式出席
- ・石垣湊 暫定供用式典を開催＝クルーズバース完成
- ・全浚 第47回通常総会を開催＝クラブ浚渫事業確保へ
- ・海技協 海上起重基幹技能者等＝講習日程などを公表
- ・円借款 トアマシナ港拡張起工式＝マダガスカル、両国400名以上参加
- ・NEDO・経産省 水素閣僚会議10月開催＝グローバルな利活用推進
- ・八戸港・苫小牧港 海外コンテナ航路開設へ連携＝市長訪問、人流、貨物量拡大へ
- ・国交省 国土地盤情報DB構築＝運営主体を決定
- ・国交省等 第8回ロボット大賞 建設分野など技術募集
- ・国交省等 経営能力向上推進機構＝建設業振興基金を認定

■平成30年4月30日・5月7日合併号（第1592号）

- ・大阪港 夢洲に大規模投資の動き＝大阪万博、IRで活況へ
- ・港湾局等 i-Conの意見交換＝シンガポール政策意義、ICT技術等
- ・国交省 官民連携で港湾整備等＝5港の調査計画を支援
- ・国交省 日ロ港湾当局間会合＝極東プロジェクト具体化へ協議
- ・港湾局 メコン・ベトナムWG＝ベトナムIPO説明会
- ・春の叙勲 鬼頭氏、前田氏が瑞中＝国交省関係受章328名

- ・春の褒章 港湾関係3団体が受章＝藍綬に清原氏、田畑氏等
- ・小名浜港 岸壁上部工や地盤改良等＝東港地区、バルク戦略港湾整備
- ・横浜港 地盤改良と載荷盛土工＝南本牧第4ブロックを促進
- ・川崎港 取付護岸やケーソン＝東扇島堀込部土地造成
- ・八戸港 今年度下期から着工＝シーガルブリッジ改良
- ・名古屋港 金城ふ頭南岸壁新設＝WTOで地盤改良工へ
- ・大分港海岸 鋼矢板の現地打設試験＝「楕形鋼矢板工法」確認
- ・那覇港 若狭港町線の細部設計＝海上部の臨港道路橋梁
- ・北九州港 洋上風力の基地港湾検討＝今年度新規、基本設計、地質調査等
- ・港湾局ら OECDレポート報告会＝LNGバンカリング拠点の可能性
- ・ピア研 第5回フォーラム開催＝英国栈橋の魅力を探る
- ・閣議決定 第5次環境基本計画＝展開施策、カーボンフリーポート等
- ・海事局 LNG燃料モデル事業 CO2削減、技術実証を支援
- ・国交省 北海道7空港民営化へ＝公募選定手続き開始
- ・東京湾官民フォーラム アンバサダーを任命＝榊アナ、ガリガリ君
- ・青森港 クルーズターミナル＝設計・建設事業者募集
- ・小名浜港 CM業務を委託＝東港荷役機械建造
- ・海事局 海ココの運用開始＝情報ポータルサイト

■平成30年4月23日号（第1591号）

- ・羽田空港 計器着陸装置基盤整備へ＝A滑走路の耐震対策着手
- ・政府 海洋基計を近く閣議決定＝港湾等の集中施策を設定
- ・五洋建設 シンガポール大型工事受注＝蘭企業JV、干拓地造成489億円
- ・港湾局 リサイクルガイドライン改訂＝6材料の評価向上
- ・中間まとめ 国交省発注行政の方向性＝建設生産システム、担い手確保・育成へ
- ・港湾局 再編・高度化の支援事業＝物流施設、公募開始
- ・港湾局 みなとオアシス知夫里島＝全国108箇所目の登録
- ・金沢港 機械攪拌の改良と浚渫工＝直轄事業、南地区7.5m岸壁改良
- ・秋田港 防波堤の築造・本体工＝静穏度対策、改良でブロック製作工
- ・東京都 基礎マウンドを施工＝波浮港東防波堤の建設
- ・鹿児島港 クルーズバース基本設計＝栈橋式などを比較検討へ
- ・神戸港 30年度も地盤改良促進＝荷捌き地の液状化対策
- ・徳山下松港 岸壁の細部設計手続き＝国際バルク戦略港整備
- ・大阪航空局 RESA整備方針調査＝課題空港の方向性検討
- ・エネ庁 砂層型MH開発を総合評価＝今年度、表層型は開発計画検討
- ・種市高校 潜水土育成へ学生寮完成＝潜水協会等寄付、全国から学生呼び込み

- ・愛知県 中部空港に客船バース検討＝可能性調査、フライ&クルーズ
- ・IMO GHG排出ゼロに合意＝2050年に半減
- ・JICA ジブチ海上輸送強化FS＝フェリー岸壁、防波堤等
- ・歌で語る港と文化＝オペラ歌手が出演
- ・ビ文協 ビーチゲームズフェス＝5月3日からお台場で
- ・土木学会 AI・土木懇談会提言＝成果報告シンポ（5/24）
- ・仙台と仁川空港が覚書＝路線の利用拡大へ
- ・極東港湾等で協力＝第5回日露運輸作業部会

■平成30年4月16日号（第1590号）

- ・30年度予算 戦略港湾の整備重点化＝コンテナ、バルク、神戸214億、横浜136億円等
- ・レアアース泥 南鳥島周辺の資源量把握＝早大、京大、東亜建設等、開発へ選鉱手法も

確立

- ・京浜港ドック 港湾技術等の実証試験＝関東地整、早期実用化へ一般公募
- ・港湾局 洋上風力施工審査指針公表＝港湾区域の導入後押し
- ・関西国際戦略チーム 中長期の取組みを検討＝近畿地整等、WGで施策・方向性議論
- ・国交省 技術基計フォローアップ、基本政策懇談会設置へ
- ・川崎港 井筒式鋼管矢板護岸など＝東扇島、掘込部土地造成事業
- ・能代港 処分場や洋上風力基地＝第2処分場整備事業
- ・新潟空港 滑走路改良等の手続き＝着陸帯改良工事も予定
- ・大阪港 付帯施設整備等を促進＝航路浚渫の検討開始
- ・那覇空港増設 舗装工を全面展開へ＝32年供用へ仕上げ工事
- ・高知港空事務所 三里防波堤や堤防改良等＝室津港で埠頭函の設置工
- ・沖縄開建部 水中バックホウ実証試験＝高制度遠隔操作化を目指す
- ・海技協 登録技能者資格の再交付＝制度改正に伴い対応
- ・経産省 脱炭素化のエネ戦略提言＝2050年、再エネなど複数シナリオ
- ・NEDO 環境アセス迅速化ガイドとりまとめ、風力等の期間半減へ
- ・NEDO 風車の故障予知技術開発＝東大・産総研、設備利用率向上
- ・四国地整 緊急確保航路計画を策定＝瀬戸内海の航路啓開
- ・上組 ティラワ港ターミナル運営権取得＝コンセッション締結
- ・NEDO 洋上風力マップを改訂＝海岸線、制約情報を追加
- ・日本郵船 トルコで合弁会社設立＝自動車ターミナル建設・運営
- ・JICA 港湾・空港民営化調査＝東南アジア等、動向分析を
- ・横浜川崎国際港湾 LNG供給の共同検討＝3社が覚書、東京湾で
- ・閉鎖性海域の技術実証＝環境省事業、募集開始

■平成 30 年 4 月 9 日号（第 1589 号）

- ・港湾局 LNG バンカリング拠点形成へ＝公募実施、新規制度創設、整備支援
- ・港湾局 堤外地高潮リスク低減へ＝ガイドライン策定・公表
- ・岡田トリニダード大使 気候変動や防災対策課題＝友好関係含め技術協力も
- ・港湾局 伏富港でコリンズ＝サービス提供港つ拡大
- ・国総研 30 年度組織改正＝港湾空港分野、研究総務官等設置
- ・港湾局事務官 4 月 1 日付人事
- ・【特集】四日市・いなばポートライン開通
- ・函館港 若松地区クルーズ船岸壁＝開建部、3 月開札工事により促進
- ・横浜港 地質調査や基本設計＝新本牧ふ頭事業化検討
- ・仙台塩釜港 付帯施設築造の手続き＝仙台港区ふ頭再編改良
- ・小樽港 老朽化対策着工＝色内ふ頭南側岸壁
- ・神戸港 湾岸道西伸部海上区間＝航路付替関連事業を予定
- ・博多港 臨港道路上部工を促進＝30 年度に WTO で 2 件
- ・徳山下松港 岸壁予定地に試験杭＝支持地盤の確認等調査
- ・国交省 インフラシステム海外展開行動計画＝戦略、注視プロジェクト等
- ・北海道 7 空港民営化実施方針＝国交省、運営権対価 720 億円以上
- ・航空局 訪日誘客支援空港懇談会＝27 空港、フォローアップ、評価
- ・各社トップの入社式訓示
- ・若築建設・岩崎 浚渫管理システム開発＝マルチビーム測量、ノイズ処理自動化など
- ・海事局 重点施策など中間まとめ＝部会開催、海事生産性革命へ
- ・海事局 海洋資源分野 4 件採択＝船舶パッケージ製品等
- ・海事局 先進船舶導入支援事業＝3 件決定、LNG 船等

■平成 30 年 4 月 2 日号（第 1588 号）

- ・埋浚協 働き方改革推進基本方針＝港湾工事、振替閉所などで 4 週 8 休を
- ・国土交通省 リサイクル P 施策高度化＝港を活用し資源循環促進
- ・港湾局人事＝4 月 1 日付技官
- ・港湾局 業務の契約変更ガイドライン＝作成・公表、設計・測量・調査等
- ・国交省 先進船舶導入へ初認定＝LNG 燃料船の研究開発
- ・釧路港 14m 泊地と航路の浚渫工＝西港区、西防波堤 4 函据え付けも
- ・横浜港 外内貿易取扱貨物が増加＝港勢報告、客船寄港も大幅増
- ・青森港 むつ小川原港航路泊地＝ポケット浚渫の設計
- ・神奈川県 湘南港の整備・改修＝東京五輪セーリング
- ・北九州港 新門司沖工事で試行検討＝床掘・置換工に ICT 化
- ・大分港 地盤改良工事を促進＝楯形鋼矢板本体も検討

- ・高知港海岸 堤防改良工に順次着手＝津波防波堤は設計等へ
- ・五洋建設 港湾工事にCIM本格導入＝国内初、相馬港のLNG栈橋築造
- ・関東地整 新港湾情報システム試験運用＝ICT活用、コンテナ輸送効率化へ
- ・東亜建設 「海の相談室」開設40周年＝支援サービス、新たな価値を提案
- ・ODA マンダレー港開発計画＝60億円供与、近代化整備
- ・国総研等 北極海航路29年49隻＝衛星AIS活用、共同研究成果を発表
- ・国交省 国土交通フォーカス2018＝注目施策集とりまとめ
- ・国交省 技能者の能力評価制度＝中間まとめ、今夏に枠組み提示
- ・国交省 コンストラクション国際賞＝建設プロジェクト10件等
- ・SCOPE 港湾局魚谷室長が講演＝30年度の入札・契約制度

#### ■平成30年3月26日号（第1587号）

- ・30年度入札契約 休日確保で成績評価加点＝直轄港湾工事、若手評価、担い手育成等
- ・繁本守衆議員 港湾は国造りの基礎＝グローバルな視点で取組
- ・港湾局 防波堤の釣り施設活用＝青森・秋田港、重点的支援も視野
- ・中部空港 国際空港評価で1位＝顧客サービス2部門
- ・酒田港 高砂2号岸壁の延伸整備＝国際物流ターミナル、ふ頭用地造成も着工へ
- ・敦賀港 拡張事業着工式典開催＝鞠山南国際物流ターミナル
- ・八戸港 WTOの3件等手続き＝航路泊地付帯施設整備
- ・横浜港 コンテナヤード整備＝南本牧地区MC4ターミナル
- ・徳山下松港 バルク戦略港で渡橋部工＝仮受杭の打設工事手続き
- ・和歌山下津港海岸 陸開等管理方策検討等＝藤白護岸では細部設計
- ・晴れの国のみなと「水島港」 東京でセミナー開催＝港湾機能の強化へ更に拡充
- ・近畿地整 フェーズ別高潮対応＝大阪湾対象に計画示す
- ・日本財団 海洋開発技術の戦略策定＝石油・天然ガス、イノベーション推進方策
- ・東洋建設 モンバサ港CT建設受注＝受注額135億円、埋立・地盤改良等
- ・運総研コロキウム 長距離輸送でのフェリー利用＝加藤主任研究員が講演
- ・港湾局 定量的評価手法を検討＝第4回会合、埋立地の地盤改良効果
- ・熊本空港 民営化へ選定手続き開始＝来年3月に優先権者決定
- ・港湾局 みなとオアシス千葉みなと＝千葉港でにぎわい創出
- ・港湾局 みなとオアシス牛窓＝登録数107箇所に
- ・羽田空港 跡地第2ゾーン計画認定＝複合施設等整備
- ・国交省 働き改革加速化プログラム策定＝施策パッケージまとめ
- ・洋上風力の早期進出＝コスモエネHD
- ・「港の日本史」＝吉田氏執筆で刊行

■平成 30 年 3 月 19 日号 (第 1586 号)

- ・事業評価部会 鹿児島港・福山港で新規事業＝30 年度着手、クルーズ整備、ふ頭再編
- ・港湾分科会 須崎港の計画改訂を審議＝中長期政策も、3 港の一部変更も了承
- ・水門・陸閘 維持管理マニュアル＝検討会開催、点検、評価方法まとめ
- ・日アセアン 港湾技術者会合を開催＝セミナー開催、航路維持管理ガイドライン
- ・国交省 入札・契約方式、制度等＝中間まとめ、発注行政の方向性
- ・茨城港 12m岸壁の本体工手続き＝常陸那珂港区、東防波堤築造も
- ・京浜港 物流高度化推進協議会＝関東地整、ICT活用の試験運用
- ・久慈港 新年度工事の手続き＝湾口地区防波堤整備
- ・横浜港 本牧ふ頭再編を検討＝国際フィーダー船岸壁等
- ・水島港 ジャケット 3 基の調達へ＝バルクバース、渡橋 3 基の手続きも
- ・平良港 水深 10mクルーズバース＝ジャケット調達等事業
- ・福岡空港 PC 版 170 枚に置換＝東側誘導路の改良事業
- ・徳山下松港 土砂処分場の地盤改良へ＝ドレーンで内部圧密促進
- ・港湾局ら 洋上風力の施工審査指針＝近く公表、技術基準の統一的解説も
- ・JOPCA 技術協力のあり方研究会＝若手技術者、インフラシステム輸出へ
- ・京浜港ドック 海洋・港湾推進協議会＝関東地整、29 年度試験成果報告
- ・関東地整 クルーズ地域振興・輸出振興手引き＝官民の支援体制整備
- ・東洋建設 クレーンカメラシステム開発＝映像検知、安全性確保
- ・北陸地整・埋浚 活性化検討会を開催＝30 年度活動方針策定
- ・NEDO ロシアでエネ実証＝風力等インフラシステム
- ・閣議決定 船舶リサイクル法案＝国際制度を具体化
- ・国交省 リカレント教育支援事業＝生産性向上、7 件選定

■平成 30 年 3 月 12 日号 (第 1585 号)

- ・来年度 基礎工の ICT 工事試行へ＝港湾局検討委、各地整等で 1～2 件程度
- ・リサイクルポート 港湾への産業副産物利用＝第 3 回研究会、藻場造成材などに期待
- ・研究会まとめ ブルーカーボン吸収量試算＝2030 年最大で 910 万 t / 年
- ・閣議決定 海外事業参入へ法律案＝港湾運営会社など業務
- ・洋上風力 一般海域利用促進法案＝閣議決定、長期占用認定制度
- ・国交省 30 年度新規事業 2 件＝福山港、鹿児島港
- ・空港バリアフリー＝ガイドライン見直し
- ・苫小牧港 商港区 10m南岸壁改良等＝室蘭開建、3 月発注工事で整備促進
- ・横浜市 臨港幹線道路等を整備＝改訂素案、臨海部再編マस्पラ
- ・秋田港 ゼロ県債で 5 件手続き＝向浜ふ頭用地造成事業
- ・徳山下松港 現地着工への期待高まる＝バルク戦略港の施設整備

- ・大阪港 北港南地区航路附帯施設＝護岸（3）の裏込等工事
- ・舞鶴港 臨港道路上安久線整備＝橋梁区間を詳細設計へ
- ・五洋建設 シンガポール大型工事受注＝JV総額 1,210 億円、チュアスターミナル埋立 423 億円
- ・近畿地整 国際物流戦略チーム幹事会＝今後の取組改訂案を提示
- ・スマートエネ 国際風力発電展など開催＝展示・セミナー、洋上風力の最新技術等
- ・中国地整 宇野と境港でBCP訓練＝事業継続の実効性向上へ
- ・東京港 補正で臨港道路促進＝中防外側CT整備事業
- ・地盤工学会 規格・基準の英訳書発刊＝国際業務支援、室内試験・地盤調査方法
- ・国交省 新型航空保冷コンテナ試験＝コールドチェーン構築へ
- ・国交省 交通運輸技術制度公募＝港湾等、AI、IoT技術
- ・JCI 助成金事業採択者を決定＝研究助成に9名など
- ・国交省 官民連携基盤整備事業＝調査支援、案件募集
- ・国交省 電子納品効率化へ＝機能要件、仕様書公開

■平成30年3月5日号（第1584号）

- ・石炭バルク 徳山下松港を拠点港湾指定＝特定貨物輸入、石井大臣が指定書手交
- ・常陸那珂港区 国際物流ターミナル現地着工式典＝中央ふ頭、水深12m岸壁2バース目
- ・クルーズ拠点 鹿児島港を追加選定＝国交省、新岸壁、施設等計画
- ・阪神港 LNGバンカリング拠点＝年度内にロードマップ
- ・みらい建設 新社長に小西氏就任＝4月1日付人事異動
- ・伏富港 富山地区岸壁改良築造工＝北陸地整、新湊地区岸壁延伸も
- ・横須賀市 南下延伸ルートを検討＝国道357号、道路NW検討会に参加
- ・石狩湾新港 農水産品輸出促進を＝都内で説明会を開催
- ・鹿児島港 22万t級クルーズ船対応＝30年度事業化も、地港審で港計変更を了承
- ・松山港 外港地区の公共ふ頭充実＝大型船対応岸壁を延伸、地方審議会を了承
- ・北九州市 響灘東の海面処分場整備＝補正予算等で事業促進へ
- ・五洋建設 繊維補強カルシア改質土＝浚渫土の有効利用が拡大
- ・日本財団 海底地形図作製プロジェクト開始＝GEBCO、2030年完成へ
- ・石井大臣 TEC-FORCE表彰＝全国大会、航路啓開活動など報告
- ・港湾局 第4回中長期政策検討懇＝とりまとめへ意見交換
- ・JWPA 洋上風力導入促進へ提言＝2030年10GW目標
- ・港湾関係 29年度の港別補正予算＝東京港に総額33億円等

■平成30年2月26日号（第1583号）

- ・港湾堤外地 高潮リスク低減方策の指針＝年度内公表、フェーズ別、エリア計画等

- ・国交省 i-c o n大賞授与式開催＝今年度創設、優秀賞、港湾分野2件
- ・国交省 マダガスカルインフラ対話＝港湾等の案件創出へ
- ・港湾局 みなとオアシス東備＝全国105箇所目登録
- ・鹿島港 JICA研修員が視察＝維持浚渫、環境対策
- ・公共工事設計労務単価＝全職種平均+2.8%
- ・日インドネシア建設会合＝国交省、協力関係強化
- ・仙台塩釜港 仙台港区の埠頭再編改良＝主要プロ、浮体施設の防波堤先行
- ・釧路港 都内でポートセミナー＝釧路市、バルク港湾やクルーズ
- ・酒田港 水深14m岸壁築造工事＝レール基礎や中仕切り
- ・水島港 国際バルク戦略港湾整備＝30年度事業、発注・施工のピークに
- ・九州地整・埋浚 若手技術者の業務成果＝管内初の共同発表会開催
- ・東予港 水深7.5mフェリーバース＝舗装等仕上げ工事手続き
- ・宮城県 石巻港等で洋上風力導入＝港湾計画一部変更、山元沿岸では来年度公募
- ・GPI つがる洋上風力発電事業＝アセス配慮書、8MW、60基を設置運営
- ・長崎港 東京でポートセミナー＝東アジア近接性活かす
- ・横浜港 最終の鋼板セル据付＝南本牧ふ頭MC4岸壁
- ・鹿島振興協会 鹿島港セミナーを開催＝国際フィーダー充実等
- ・四日市港 4月1日に臨港道開通＝愛称『四日市・いなばポートライン』
- ・中国地方国際物流戦略チーム 水島港利用者懇を開催＝船舶大型化への対応等
- ・石狩市 風力ゾーニング検討＝陸上・洋上、来年度マップ作成
- ・国交省等 気候変動レポート公表＝海水温、海面水位等
- ・1月クルーズ船寄港数＝142回、前年同期1.53倍

■平成30年2月19日号（第1582号）

- ・来年度 長寿命化事業の地方債拡充＝地方単独事業、港湾施設等200億円規模
- ・東北地整ら クルーズ振興連携会議総会＝寄港拡大へ、シンポジウムも開催
- ・五洋建設 ナカラ港開発工事を受注＝モザンビーク、東亜とJV、256億円
- ・ビ文協 2017年度活動報告会開催＝ビーチ通年活用、心のバリアフリーを
- ・横浜港 大黒ふ頭再編改良事業等＝主要事業、クルーズ船やコンテナ
- ・岩手県 ポートセミナー開催＝知事らが4港を紹介
- ・仙台港 首都圏セミナー開催＝コンテナターミナル機能強化へ
- ・佐世保港 クルーズバース手続き＝本体の製作・据付を追加
- ・八代港 岸壁本体下部を地盤改良＝大型クルーズバース整備
- ・広島港BCP連絡協 広島港を対象に初訓練＝15機関・団体が参加
- ・境港 竹内南水深10m岸壁＝浚渫土の付帯ヤード整備
- ・下田港 本体方塊の据付工事＝開口部の潜堤最終へ

- ・航空局 北海道7空港の民間運営へ＝4月に募集要項、32年度6月から段階的開始
- ・能代港 洋上風力33年春運転開始＝アセス準備書、4200KW 21基
- ・東扇島防災拠点 情報伝達訓練を実施＝ヘリの夜間離着陸も
- ・NEDO 海洋エネの長期実証公募＝離島用電源の活用視野に
- ・NEDO NISTと協力覚書＝ロボット技術で連携
- ・東京地区 四日市港セミナー開催＝利便性、支援制度PR
- ・小名浜港 利用促進協がセミナー＝バルク戦略港湾など
- ・国交省 質の高いインフラ投資へ＝来年度、アフリカ2ヶ国で会合

■平成30年2月12日号（第1581号）

- ・港湾局 CIM導入の指針作成へ＝3WG設置、ICT工種拡大、書類効率化も
- ・リサイクルポート 災害廃棄物の広域処理＝第2回研究会、港湾活用方策等を議論
- ・国交省 農水産物輸出計画を認定＝静岡県、清水港で整備促進
- ・清水港 農水産物の輸出拠点港湾＝計画策定、施設整備、官民連携等
- ・建設リサイクル推進計画＝国交省、来年度策定作業
- ・ゼロ国債 全国港別、事業費配分＝主要整備施設等
- ・新潟港 北護岸の築造、嵩上げ等＝西港区、航路泊地付帯施設整備
- ・東京港 地盤改良と底面深掘り＝新海面Dブロック整備促進
- ・金沢港 補正で築造工事2件＝南地区岸壁の地盤改良
- ・大阪港 北港南地区航路附帯施設＝護岸（2）の盛砂手続き
- ・津松阪港海岸 阿漕浦・御殿場地区促進＝来年度は1工区にも着手
- ・三池港 航路護岸等の改良事業＝29年度発注工事公告中
- ・徳島小松島港 沖洲（外）の防波堤延伸＝補正で消波ブロック製作
- ・国土交通省 港湾技術基準を大幅改定＝4月施行、生産性向上等へ規定拡充
- ・ピア研 第4回フォーラム開催＝地域活性化方策、港湾技術、英国栈橋等
- ・東京湾再生 NPO・企業連携強化へ＝研修プログラム等、未来交流会を開催
- ・横須賀火力 アセス準備書を縦覧＝新1・2号機建設計画
- ・秋元国交副大臣 パナマ・コロンビア出張＝港湾協力、LNG船対応
- ・海事局 海洋開発技術を支援＝公募開始、船舶低コスト化等
- ・航空局 補正予算・ゼロ国債＝羽田、新千歳空港等
- ・航空局 イノベーション推進へ＝初会合、官民連絡会を開催
- ・造船工程の生産性向上＝海事局が支援、公募
- ・九州地整、参加要件緩和＝WTO対象工事
- ・インフラツーリズム方策＝国交省、来年度検討

■平成30年2月5日号（第1580号）

- ・みなと総研 「新みなとまちづくり」＝研究会発足、WF開発の政策提言へ
- ・第4回 ブルーカーボン研究会開催＝年度内まとめ、吸収量100万～1000万t規模
- ・強い物流 物流施策推進プログラムを決定＝港湾分野等、新規・拡充68施策
- ・港湾局 i-Conの取組み加速＝分野別WG設置し検討へ
- ・29年度補正関係約347億円＝ゼロ国債約274億円
- ・川崎港 東扇島掘込部埋立て着工＝主要プロ、年度内に免許取得
- ・酒田港 水深14m岸壁延伸整備＝直轄事業、新年度に締切護岸
- ・千葉パワー 蘇我火力発電所建設＝32年から4年で整備
- ・川崎市 クルーズ船基礎調査＝東扇島ふ頭で受入れ
- ・福山港 水深13m岸壁等位置付＝一部変更、地港審了承、バルク、コンテナ強化
- ・東予港 WTOで航路浚渫工事＝航行船舶の安全確保へ
- ・指宿港海岸 離岸堤整備等を促進＝30年度は護岸工も予定
- ・りんかい日産等 洋上風力の基礎工法開発＝テーパー型基礎杭、撤去費用・Co2半減
- ・エネ庁 洋上風力の入札制移行議論＝一般海域、利用ルール化時に導入を
- ・CNAC 全国フォーラムを開催＝ビジネス・地域おこし、新たな潮流を探る
- ・第4回 貿易手続き官民協議会＝港湾の渋滞緩和など
- ・中国地整管内 クルーズ船寄港大幅増＝過去最高の244回に
- ・石狩湾新港 取扱貨物量が最高＝29年速報値公表
- ・愛知県 国際戦略プラン2020素案＝航空路、航路拡充を
- ・川崎汽船ら 船舶向けLNG供給へ＝事業化の検討開始
- ・名古屋港政策体系＝管理組合が一部改訂

■平成30年1月29日号（第1579号）

- ・自民党港湾議連 30年度予算結果を報告＝港湾施策に成果活かす
- ・港湾局 重要港湾管理者等主幹課長会議＝菊地局長、施策の方向性等を語る
- ・港湾関係5団体 30年新春賀詞交歓会＝継続的な整備・振興を
- ・茨城港 WTOで築造工事手続き＝関東地整、常陸那珂港区12m岸壁
- ・久慈港 ケーソン製作を発注＝東北地整、湾口地区防波堤整備
- ・木更津港 小型船移設へ栈橋工＝内港地区の緑地等整備
- ・八代港 岸壁本体築造工事手続き＝クルーズ船対応、耐震も
- ・福岡空港 エプロン新設工事等＝滑走路増設事業本格化
- ・博多港 臨港道路上部工手続き＝3工区と4工区の2件
- ・和歌山下津港 琴ノ浦水門仕上げ工事＝海南地区津波対策、湾内護岸改良本格化
- ・京浜港・阪神港 戦略港湾への集荷促進を＝港湾局、東西の政策推進協を開催
- ・中国地整 混合材技術マニュアル案＝浚渫土／鋼製スラグ、干潟造成等に活用
- ・JOPCA 第8回セミナー開催＝海外港湾事例の紹介等

- ・港湾9団体 JICA研修セミナー＝港湾戦略運営、11カ国12名参加
- ・港湾協会 ポートオブザイヤー2017＝境港が受賞、表彰式
- ・NEDO 浮体式風力発電の調査＝欧米研究、技術評価
- ・三井造船 マニラCT向け16基＝ヤード用クレーン受注
- ・土木学会 土木計画学セミナー開催＝今後、東北・九州でも
- ・海事局 先進船舶技術を支援＝IoT活用、募集開始
- ・航空局が連絡会議設置＝国有財産処分手続き

■平成30年1月22日号（第1578号）

- ・官民クルーズ 6港で拠点形成計画作成＝今年度補正等、予算配分し整備促進
- ・2017速報 訪日クルーズ過去最高＝旅客数253万人、寄港回数2765回
- ・JWPA 新春賀詞交歓会を開催＝洋上風力「元年」、取組促進
- ・JWPA 2017年風力導入実績＝速報値、新規169MW、77基
- ・熊本空港 民間委託の実施方針策定＝航空局、3月に募集要項等公表
- ・i-Con シーズ説明会を開催＝技術のマッチングへ
- ・セネガルで官民会議＝牧野副大臣、覚書署名
- ・阪神港セミナー（1/26）＝タイ・バンコクで開催
- ・鹿島港 南防波堤で静穏度対策＝主要事業、県は北海浜防砂堤を整備
- ・福井港 海岸保全施設完成式典＝北陸地制、1100億円の浸水被害回避
- ・茨城港 常陸那珂港区国際CT＝東防波堤残事業67億円
- ・大阪港 北港南地区航路附帯施設＝WTOで3件を発注予定
- ・須崎港 港計改訂案を地港審了承＝バルク船の大型化に対応
- ・志布志港ふ頭再編改良事業＝着工式を開催
- ・五洋建設 棧橋調査診断システム開発＝自動劣化度判断、無線式ボートで効率化
- ・環境省 来年度に再エネDB構築＝一般海域、洋上風力等を後押し
- ・北九州港 ハイブリット発電所竣工＝響灘地区、風力・太陽光
- ・秋田沖合 洋上風力発電事業を計画＝JRE、最大45基、180MW
- ・西海市沖合 240MW級洋上風力事業＝JRE、環境配慮書の縦覧
- ・三井造船 コンテナクレーン30基受注＝ベトナム、ラックフェン港向け
- ・ブラジル沖 FPSO事業で合意＝本邦5社共同で取組推進
- ・日本海連合 海洋資源フォーラム＝2/2、鳥取市で開催
- ・着床式WF支援事業＝NEDO、2月公募

■平成30年1月15日号（第1577号）

- ・港湾局 カーボンフリーポート構想＝低炭素化へ、港湾空間で総合的対策を
- ・港湾局 作業船のLNG燃料化へ＝とりまとめ、環境整備船モデルに検討

- ・水産庁 基盤整備事業 700 億円＝制度拡充等、30 年度概算決定
- ・港湾協会 港湾技術基準の講習会＝1/31、2/6 に開催
- ・青森県 港湾協会団体を指定＝八戸港、大間港
- ・海事局 洋上風力ガイドライン策定へ＝30 年度新規、コスト低減、安全評価等
- ・航空局 点検等の新システム構築＝30 年度新規、レーザー技術等活用
- ・千葉港 港湾計画改訂素案を提示＝千葉県地港審幹事部会開催
- ・東京港 Y 3 岸壁は 32 年度着工＝中防外地区国際海上 C T 整備
- ・横浜港 軽易変更で桁下空間＝（仮称）山下本牧連絡橋
- ・名古屋港 飛島ふ頭東岸壁再編中＝金城ふ頭は南地区新設
- ・高知港海岸 堤防改良が今後本格化＝内部護岸は設計等促進
- ・伊万里港 七つ島地区臨港道路＝P C 桁の製作・架設へ
- ・広島港 テロ対策で合同点検＝出島 C T の保安確認
- ・企業トップの年頭所感＝五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設
- ・NEDO 海洋エネの長期実証研究＝30 年度新規、離島用電源実用化へ
- ・円借款 インドで海上道路建設＝I H I インフラシステム
- ・政府 水素基本戦略を策定＝海上輸送、S C 構築等
- ・海事局 イノベーション部会開催＝自動運航船の実用化等
- ・東洋建設ら 三浦研究所で体験講座＝小学生ら 35 名参加
- ・関東地整 アマモメッセンジャー＝金沢小生徒が種子贈呈

■平成 30 年 1 月 1 日・8 日合併号（第 1576 号）

- ・新春のご挨拶 石井国土交通大臣
- ・新年のご挨拶 菊地国土交通省港湾局長
- ・新年のご挨拶 蝦名国土交通省航空局長
- ・航空局予算案 空港整備勘定 4309 億円＝対前年度比 1.1 倍、羽田整備、福岡本格化
- ・30 年度港湾局新規制度 4 件＝A I ターミナル、バンカリング等
- ・エネ特会 30 年度予算案 7798 億円＝経産省分、補正予算案は 328 億円
- ・港湾局 官民連携クルーズ拠点形成へ＝第 2 回計画書募集、年度内選定
- ・中長期政策 P O R T 2030＝①重点施策の方向性
- ・国総研 港湾施設の即時被害推定＝30 年度新規、手法確立、概念設計
- ・J W P A 一般海域利用の法制化を＝洋上風力、国交省等へ要望
- ・徳山下松港 下関港の港湾運営を指定＝国際バルク戦略港を推進
- ・瀬戸内海の航路啓開＝中国地整らが協力締結
- ・東洋建設 次世代ポンプ浚渫システム開発＝効率・省力化、ラダー制御の自動化